

平戸藩主の庭園に佇む石造物群

写真&実測図

永松 義博 吉田 健 編



刊行にあたって

三十数年前、永松義博先生の目に松浦史料博物館の絵図が目に入り、その場を訪ね、誰から頼まれたわけでもなく、その学究心から始まった棲霞園の整備。南九州大学へ奉職されてからは、棲霞園を造園した平戸松浦家第35代熙(観中)へと研究対象は広がり、さらに梅ヶ谷津愷楽園の研究も始まりました。研究の成果は先生をはじめ学生たちにより次々と発表され、重要性が世間に知られ始めます。長年の研究成果がベースとなり平成25年には両庭園を国指定名勝にすることができました。平成23年から始めた特別公開では学生による案内が行われ、来場者には大変な好評を得ました。このようなアイデアは先生や多くの学生の庭園をもっとよく知ってもらい、楽しんでもらう熱意によるものでした。

そして平成28年、研究の集大成である「鎖国期の歴史のはざまに輝いていた庭園があった」が刊行されました。図版や二度と撮影することの出来ないたくさんの写真が掲載され、わかりやすい解説が付されています。この一冊なしには両庭園を語ることは出来ないでしょう。

さて今回の「平戸の庭園に佇む石造物群」は、上記冊子製作の過程で得られたデータを公開することを目的に刊行されました。併せてみることで、より深く両庭園の多様性を知ることができると思います。編集者である永松先生、吉田健氏には心から敬意と感謝を申し上げます。

他地域に無いこの両庭園を今後とも守り、後世に伝えていくことが今を生きる私たちの責務と考えております。みなさまのご協力、ご支援をいただきますようお願いいたします。

平戸市長 黒田成彦

平戸藩主の庭園に佇む石造物群

写真&実測図

永松義博 吉田健 編

編者

永松義博

1951年福岡県久留米市生まれ。1974年東京農業大学農学部造園学科卒業。
福岡県の公立高校教諭を経て1992年より南九州大学園芸学部造園学科勤務。
現在、南九州大学名誉教授。博士（農学）。

吉田 健

1994年広島県東広島市生まれ。2016年南九州大学環境園芸学部環境園芸学科
卒業。2017年南九州大学庭園デザイン学研究室研究生修了。
現在、（有）四宮企画勤務。

石造物実測者

| | |
|------|-------|
| 永松義博 | 吉田 健 |
| 岡田裕星 | 塚原遼祐 |
| 岡 楓子 | 山下徹也 |
| 國分 亮 | 藤吉拓也 |
| 山下真輝 | 松尾麻衣子 |
| 木下智博 | 山崎宏樹 |